

様式第 8

平成 2 5 年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
出雲市	出雲市	H20.4.1~H25.3.31	5年間

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成18年度)	目標 (割合※1) (平成25年度) A	実績 (割合※1) (平成25年度) B	実績B /目標A
排出量				
事業系 総排出量	22,049t	18,921t (-14.2%)	22,240 t (0.9%)	117.5%
1 事業所当たりの排出量	2.48t	2.13t (-14.1%)	2.50 t (0.8%)	117.4%
家庭系 総排出量	43,120t	35,002t (-18.8%)	38,875 t (-9.8%)	111.1%
1 人当たりの排出量	244.4kg/人	198.0kg/人 (-19.0%)	222.77kg/人 (-8.9%)	112.5%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	65,169t	53,923t (-17.3%)	61,115 t (-6.2%)	113.3%
再生利用量				
直接資源化量	2,420t (3.7%)	1,876t (3.4%)	1,597 t (2.6%)	85.1%
総資源化量	12,917t (19.8%)	17,055t (31.6%)	10,439 t (17.1%)	61.2%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	13,158MWh	19,680MWh	149.6%
減量化量	中間処理による減量化量	30,290t (56.2%)	41,437 t (67.8%)	136.8%
最終処分量	埋立最終処分量	7,875t (14.6%)	9,872t (16.2%)	125.4%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成18年度)	目 標 (平成25年度) A	実 績 (平成25年度) B	実績B /目標A
総人口	174,669	173,153	174,505	—
公共下水道				
汚水衛生処理人口	61,884	75,825	77,860	102.7%
汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	35.4%	43.8%	44.6%	101.8%
集落排水施設等				
汚水衛生処理人口	32,116	34,517	33,719	97.7%
汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	18.4%	20.05%	19.3%	96.3%
合併処理浄化槽等				
汚水衛生処理人口	23,053	27,800	34,499	124.1%
汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	13.2%	16.1%	19.8%	123.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	35,011	28,427	81.2%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業 番号	施策の名称等	実施 主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再 使用の推進 に関するもの	11	ごみの有料化	出雲市	適正な処理費用の負担等を検討。	H20～H24	・平成20年4月1日 手数料を値上げ ・平成23年4月1日 可燃ごみ袋特小を作成
	12	環境教育普及啓発	出雲市	啓発パンフ作成・配布などの実施	H20～H24	・環境保全連合会でのごみ減量化講演会の実施 ・地域での出前講座実施 ・CATV用の啓発番組制作 ・啓発誌の発行（出雲ごみダイエット通信） ・事業所への個別指導
	13	マイバッグ持参運動	出雲市	商工会議所等と協力し、マイバッグ持参運動等を推進	H20～H24	・平成21年 レジ袋有料化実施 - 市内11事業所29店舗で無料配布を中止している。
	14	集団回収の推進	出雲市	集団回収の助成や情報提供による活動の促進、	H20～H24	●資源ごみのリユース - リサイクル促進を目的のし、古紙・空き缶・リターナブル瓶を回収する団体に対し回収量に応じて補助金を交付 ・平成24年度末登録団体数 99団体 【補助金額】紙類…1キロにつき3円 - 空き缶…1キロにつき5円 - リターナブルびん…1本につき2円
	15	生ごみ等の減量化	出雲市	新たなごみ減量化対策の検討	H20～H24	・生ごみ処理容器の購入補助金交付（但し平成25年度末で終了） ・地域での出前講座実施 ・啓発誌の発行（出雲ごみダイエット通信）
	16	生活排水対策	出雲市	生活排水対策に関する普及啓発活動の推進	H20～H24	◆水洗化率向上のための方策 (1) 早期接続のための啓発 ・工事説明会でのパンフレット、パワーポイント等を利用した水洗化の必要性の周知 ・広報いずも、市ホームページにより早期接続の啓発 ・水洗便所改造資金融資あっせん制度のPR (2) 下水道未接続の家屋所有者に対する早期接続依頼 ・早期接続依頼文書の送付 ・個別訪問、意向調査の実施
処理体制の構築、変更に関するもの	21	事業系一般廃棄物の処理体制	出雲市	多量に排出する事業者がある場合は、減量化に関する指導等を行う。	H20～H24	各施設の受付の際に大量排出事業者に対しリサイクル等の推進についての直接指導を行った。
	22	リサイクルの推進	出雲市	ストックヤードを整備し資源化を推進する。	H23～H24	平田地域から排出された古紙を整備した「ストックヤード」に一時保管し、リサイクルを推進した。

処理施設の整備に関するもの	1	ストックヤードの整備	出雲市	西郷町	H21~H23	H21年度に「平田市環境衛生センター」を解体した跡地に平田地域の資源ごみ（古紙）の一時保管をするための「ストックヤード」を整備した。 H22年度⇒測量設計・建築実施設計 H23年度⇒建築工事・機械設備工事
		合併処理浄化槽	出雲市	斐川地域	H23~H24	個人が設置した合併浄化槽の工事に対する補助金 (1) 補助金額 5人槽：332千円、7人槽：414千円、10人槽：548千円 (2) 補助件数 H23年度 5人槽：1件 7人槽：4件 H24年度 5人槽：1件 7人槽：3件 10人槽：2件
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	出雲市	西郷町	H20~H20	H21年度に解体する「平田市環境衛生センター」の焼却炉のダイオキシン類等の調査を実施した。
	33	1の計画支援	出雲市	西郷町	H22~H22	ストックヤード基本設計、用地測量を実施した。
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	出雲市	リサイクル状況の情報提供、再生利用品の利用拡大を啓発	H20~H24	・環境保全連合会での啓発 ・地域での出前講座実施 ・啓発誌の発行（出雲ごみダイエツト通信）
	42	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	出雲市	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	H20~H24	家電リサイクル法対象品目（家電4品目）について、同法に従い適正に処理を行うよう、ホームページでの情報発信やポスター掲示等により周知を行った。また、市民からの問い合わせに対しては、法律に従った適正な処理を案内した。 その他、保健所と連携して、年1回、不用品回収業者の調査及び指導を行った。
	43	不法投棄対策	出雲市	十分な巡回指導体制の確保	H20~H24	「ポイ捨て禁止協議会」と連携しパトロールを実施し不法投棄撲滅の強化を実施した。（毎年1回開催）
	44	災害時の廃棄物処理	出雲市	災害時を想定した体制の整備を検討	H20~H24	H25年7月~8月に発した西部豪雨災害の影響による海岸漂着物の処理の対応に協力した。

3 目標の達成状況に関する評価

【ごみ処理】

排出量

（事業系）目標に対する実績は117.4%で、削減目標を達成できなかった。
（家庭系）目標に対する実績は112.5%で、削減目標が達成できなかった。

再生利用量

（直接資源化量）目標に対する実績は85.1%で、再生利用目標を達成できなかった。
（総資源化量）目標に対する実績は61.2%で、再生利用目標を達成できなかった。

熱回収量

目標に対する実績は149.6%で、熱回収目標を達成した。

最終処分量

目標に対する実績は125.4%で、減量目標を達成できなかった。

ごみ処理に関する目標の達成は、熱回収量のみとなった。

排出量の目標が達成できなかった要因として、ごみの減量に向けた啓発に精力的に取り組んでいたが、事業系については、景気回復の兆しが出てきたことから経済活動が活発になり、また観光客の増加が影響していると考えられる。家庭系については、世帯分離による世帯数増加と生活様式の変化による使い捨て製品が普及してきたことが大きく影響していると考えられる。

再生利用量の目標が達成できなかった要因として、昨今の店頭回収が増えてきたことが要因と考えられる。

最終処分量の目標が達成できなかった要因としては、平成25年7月及び8月の西部豪雨災害をはじめ、海岸に流れ着いた漂着物の大量処分及び、火災の発生により処分量が増えたことが要因となった。

【生活排水処理】

公共下水道

目標に対する実績は102.7%で、目標を達成した。

集落排水施設等

目標に対する実績は97.7%で、目標を達成できなかった。

合併処理浄化槽等

目標に対する実績は124.1%で、目標を達成した。

汚水衛生処理率は、平成18年度の67.0%に対し、平成25年度実績は83.7%となっており、目標の79.95%を超えている。しかし、集落排水施設については、目標未達成となっている。未達成となった要因としては、農集・漁集区域の供用人口が平成24年度が34,028人に対し平成25年度が33,719人に減少したためと考えられる。

(都道府県知事の所見)

(ごみ処理)

排出量、再生利用量、最終処分量において目標に届いていないものの、家庭系の一般廃棄物排出量については減少傾向にあるため、継続した取組みにより更なる効果が期待できる。また、最終処分量についても、今後は一般廃棄物の総排出量に比例して減少していくと考えられる。

引き続き4Rの取組みにより、再資源化の推進、循環型社会の形成を図られたい。

(生活排水)

公共下水道、合併浄化槽については目標を達成しており、汚水処理率についても目標を大きく上回っている。

集落排水等については、目標に届かなかったが、汚水処理人口については着実に増加しているため今後さらなる向上が期待できる。

改善計画書

1 目的

本計画書は、出雲地域循環型社会形成推進地域計画の4（2）に定める目標達成状況を評価した結果、目標を達成できなかった項目について、その要因を分析するとともに、今後の目標の達成に向けた方策等にかかる計画を定めるものである。

2 目標の非達成項目

【ごみ処理】

(1) 排出量

目標値 53,923 t (H18年度比-17.3%) に対し、61,115 t (H18年度比-6.2%) となり、目標を達成できなかった。

(2) 再生利用量

① 直接資源化量

目標値 1,876 t (総排出量比3.4%) に対し、1,597 t (総排出量比2.6%) に 留まり、目標を達成できなかった。

② 総資源化量

目標値 17,055 t (総排出量比31.6%) に対し、10,439 t (総排出量比17.1%) に留まり、目標を達成できなかった。

(3) 最終処分量

目標値 7,875 t (総排出量比14.6%) に対し、9,872 t (総排出量比16.2%) となり、目標を達成できなかった。

3 目標が達成できなかった要因

【ごみ処理】

(1) 排出量

① 事業系総排出量

景気回復や出雲大社の大遷宮に伴う観光客の急増など交流人口の増加に伴い、経済活動が活発化したことが影響していると考えられる。

② 家庭系総排出量

世帯数増加と生活様式の変化により、製品の少量個包装化が進み、また、使い捨て製品が普及してきたことが影響していると考えられる。

(2) 再生利用量

① 直接資源化量

② 総資源化量

店頭回収等行政回収以外の回収ルートの確立により、行政側で把握していない資源物の量が一定程度存在することが影響していると考えられる。

(3) 最終処分量

平成25年7月及び8月の西部豪雨災害をはじめ、海岸に流れ着いた漂着物の大量処分及び、火災の発生により処分量が増えたことが要因となった。また、可燃ごみの減量が達成できず、可燃性残渣が当初の計画より増加したことも要因のひとつと考えられる。

4 目標の達成に向けた施策等

【ごみ処理】

(1) 排出量

①事業系総排出量

排出量減少に向け、引き続き、事業者の排出者責任の明確化及びごみ分別、再資源化の徹底を図っていく。

②家庭系総排出量

排出量減少に向け、引き続き、ごみの排出抑制、分別及び減量化、再資源化に関する啓発を行う。

具体的には、市内の環境保全団体や自治会等を対象とした説明会の開催や、広報誌、動画サイト等各種媒体を通じた啓発を行う。また、市が独自に作成している啓発誌「ごみダイエット通信」を定期的に発行していく。

(2) 再生利用量

①直接資源化量

②総資源化量

資源化量を増加させるため、現在、再資源化を行っている品目（ペットボトル、古紙、古布、缶、びん等）の分別につき、更なる周知、徹底を図る。また、集団回収に対する助成を引き続き実施していく。

さらに、現在、分別収集を実施していない資源物について、今後、分別収集・再資源化を進めていくことを検討する。

(3) 最終処分量

広報誌、ホームページ、定期的に発行している環境通信やイベント等で施設の状況等を発信するとともに、処分場延命化の取り組みとして4Rの推進を更に強化し排出抑制を進める。